

ご協力をお願いします！

## 東日本大震災の被災者を支援する募金

日時：本日5月27（金）

昼休みの時間（12：40～14：00）

午後の休憩時間（15：50～16：10）

場所：受付（募金箱を置きます）

### お願いの趣旨

今回の大地震に伴うさまざまな被害は、地域の方言にも大きな影響を及ぼすことが心配されます。今後われわれは、危機言語としての被災地の方言の記録・保存や、避難先における方言話者をめぐる社会的問題など、多くの課題に向き合っていく必要があります。と同時に、今すぐ、被災地の方々のためにできることにも取り組みたいと考えます。今回、募金活動を行うことを決定したのは、その理由からです。

日本方言研究会の基盤である方言学は地域に根ざした研究であり、地域の方々から方言について教えを受けることで成り立っています。そうした研究の性格を考えたとき、今回のような甚大な被害を受けた地域の方々に、会として支援の手を差し伸べたいと考えるわけです。

研究会参加者のみなさまには、なにとぞこの募金にご協力くださるようお願い申し上げます。

なお、集まったお金は、義援金として、日本赤十字社に届ける予定です。

2011年5月27日

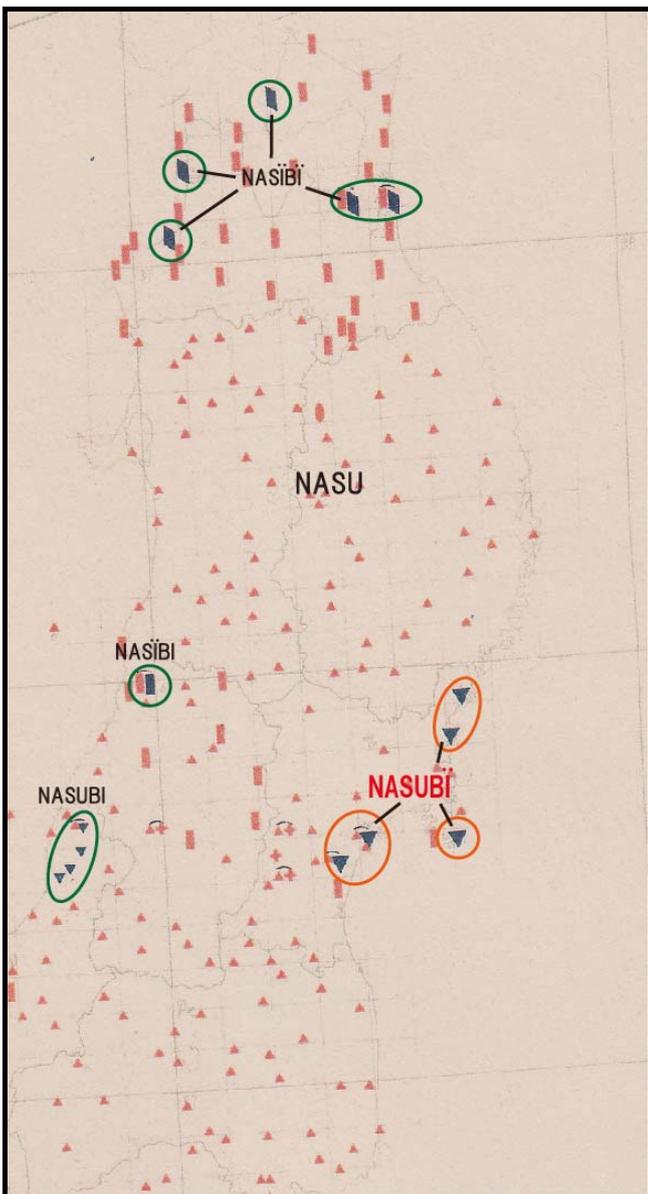
日本方言研究会世話人会

このプリントの裏に、方言地図を載せました。分布上、津波や原発関係の被害のあった地域に特徴的な語形が見られる事例です。「地震」の地図では、九州・沖縄に通じるナイが岩手の海岸部にもわずかに認められます。宮城の沿岸部に点在する「茄子」のナスビも西日本との交渉を考えさせます。福島では、例えば「森」のミヤマ（宮山）が古代信仰との関係で注目され、「凧」のタケは他にない独特の語形です。こうした方言が、今後、急速に消滅に向かわないか、大いに心配です。

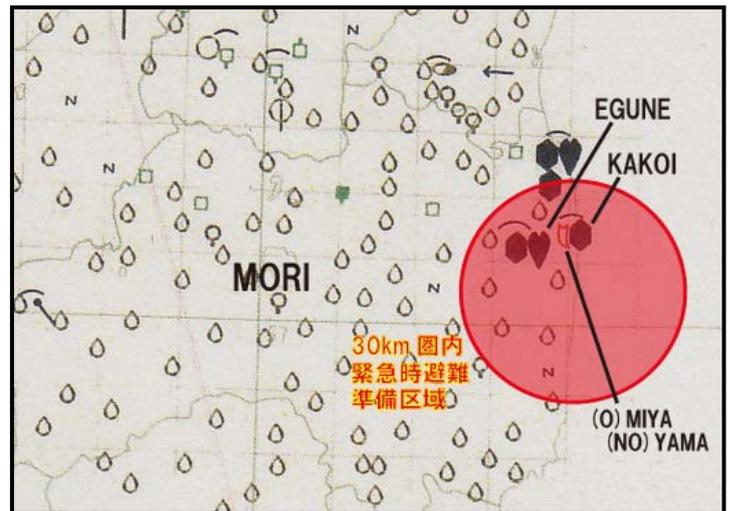
日本語地図 (LAJ) 263 図 じしん(地震)



LAJ 181 図 なす(茄子)



LAJ 198 図 もり(森)



LAJ 143 図 たこ(蛸)

